

一社)日本循環器学会  
 第86回学術集会 会長 伊藤 浩  
 情報広報部会 部会長 岸 拓弥

### 第86回 日本循環器学会学術集会でのtwitter活動についてお願い

時下、益々、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、早速ではございますが、日本循環器学会は2018年10月より、総務委員会情報広報部会による学会公式認定twitter([https://twitter.com/JCIRC\\_IPR](https://twitter.com/JCIRC_IPR))を用いた広報活動を積極的に推進しております。その一環として、AHA や ESC ではすでに行われております学会会場からのリアルタイムな情報発信を、進めていく所存でございます。

医学系学会や Journal における情報発信と共有は、世界的に大きな変革の時を迎えています。最近 Circulation に “twitter as a new competency” というタイトルの論文が発表され、論文の評価指標におきましても、これまでのインパクトファクターや引用回数のみならず twitter や facebook など Social Networking Service (SNS) 上での評価指標である Almetric score が急速に普及しています。さらに、AHA や ESC などでは発表スライドがリアルタイムに twitter で発信・共有され、twitter 上での活発な議論が常時行われています。Circulation にも 2014 年からの爆発的な学会情報拡散について報告されています。

しかし、twitter の活用については、日本の医学系学会は大幅にグローバルスタンダードから遅れをとっていると言わざるを得ません。日本循環器学会としては日本の医学系学術集会で最大規模かつ最先端の立ち位置をさらに発展させるために、twitter 活用による有意義な情報発信・共有は今後不可欠であり、早急に行う必要があると考えました。

実際の試みとして、第83回学術集会(横浜)において発表スライドや座長のインタビュー動画などをツイートすることを初めて実践し、第85回学術集会(オンライン)でもさらなる情報発信・共有を行うことで、日本での学会としては最大となる約10,000人のフォロワー数を有する規模となり、大きな成果を得る事ができました。

そこで今回ご相談させていただきたいのは、2022年3月の第86回日本循環器学会学術集会(オンライン)において先生がご発表されるセッションにおきましても、積極的なtwitter活用を実践させていただきたいと考えております。

実際の内容としては、以下の通りとなります。

- ✓ ご許可いただきましたら、先生のご発表スライドの中で個人情報を含まないサマリースライドや勉強になると思われる部分を会場で情報広報部会委員・サポーターが写真撮影し、コメントとハッシュタグ#22JCSをつけてtwitterで配信させていただく可能性がございます。(twitter配信は、情報広報部会公式アカウントか、情報広報部会委員・サポーターのアカウントにおいて行います。)

この対応に、ご許可をいただきたいと考えております。先生の素晴らしい発表内容を、従来の学会では不可能な多くの方とリアルタイムに共有できる又とない機会となるように邁進させていただきます。

大変お忙しい中恐縮ですが、ご検討を賜りたく、何卒、宜しくお願い申し上げます。

**(ご承諾の可否については、本案内メールの入力フォームにて、3月8日までに回答賜りたく存じます。)**

敬具

記

<実際の活動内容>

- ① 発表者の許諾
- ② 発表時のスライドを含む写真撮影
- ③ 写真をツイッター#22JCS ハッシュタグをつけて投稿  
(情報広報部会公式アカウントか、情報広報部会委員・サポーターアカウントにて実施)
- ④ 情報広報部会委員・サポーターアカウントのツイートは情報広報部会公式アカウントでリツイート
- ⑤ 適宜、日循広報部会で質問に対して返信に対応

以上